

亀川消防署早く建てかえを

5月11日、厚生消防委員会は消防署の亀川出張所と浜町出張所を視察しました。

厚生消防委員である猿渡（えんど）久子市議は、6月市議会一般質問で視察の感想を述べながら、消防署亀川出張所や消防本部庁舎を早く建てかえるよう求めました。

築40年耐震に問題あり

えんど久子市議は、「い」などと問題点を現状の説明を求めました。説明しました。

消防本部の担当課長は「亀川出張所は昭和47年に建設され、築40年経過し耐震に大変不安を感じている。現在の施設では多様化する災害に対応する実践的な訓練ができず、本署に出かけていき行かないとしている。女性消防署員の当直勤務ができない



消防署亀川出張所を視察。「消防車などを3台にしたいたが2台しか無理。老朽化し手狭」と説明を受ける。

防災の拠点として重要



平成20年に建てかえられた浜町出張所。計5台の消防車両を配置。個室の仮眠室や女性隊員用の施設、トレーニング室、研修室、消防ホース乾燥用リフトなど設備が整っている。亀川とのギャップが大きい。

また「野口の本部・本署は昭和54年に建設され、やはり老朽化して訓練などの施設が不足している」と説明。えんど久子市議は「災害への備えや防災への関心が高いなか、このままでは困る。早い時期の建てかえが必要」と消防長の見解を求めました。

消防長は「どちらも防災拠点として早い時期の建てかえが必要だが、亀川が先だろう。近隣住民への説明・理解や財源・建設地の問題など課題があるが、慎重にできる限り迅速に取り組まなければならないと考える」と答弁しました。

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.518
2012. 7. 17.

日本共産党 えんど久子市議 毎回の議会で質問 理解し合い支えあうための条例制定

障がいがある人も共に

「障がいのある人もない人も安心して安全に暮らすのせる別府市条例」（仮称）の制定に向けて取り組みが進んでいます。猿渡（えんど）久子市議は、昨年9月議会から毎回の議会でこの条例制定について質問してきました。

市民の意見を反映して条例を作ろうという別府市初の取り組みです。障がいをもつ方やその家族・関係者も入った条例制定作業部会で、条例の骨格について議論されています。

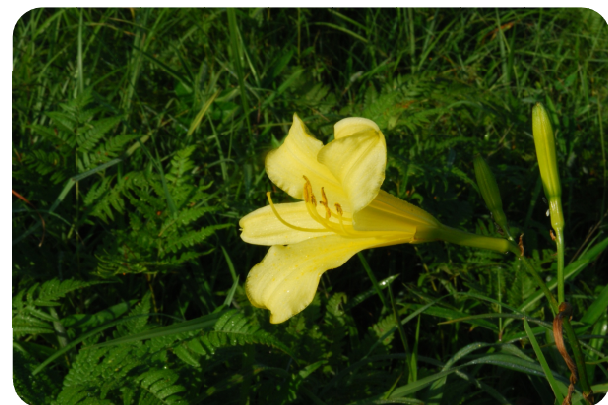
来年6月条例提案へ

えんど市議は6月市議会的一般質問で、まず、これまでの経過と今後のスケジュールについて質問。「昨年12月に設置した条例制定作業部会でこれまで6回の会議を開き協議してきた。7月・8月で答申案をまとめ、来年6月市議会に条例案

を提出する予定」との答弁でした。

えんど市議は、「担当課だけでなく市役所全体での取り組みが大事だ」と述べ「なぜ条例制定が大事なのか」と、その意義と特徴について質問。

同じ地域で暮らす仲間



黄菅（キスゲ）

市の障害者福祉課長は、「障がいがある人もない人も等しく基本的人権を持つかけがえのない個人として尊重されるものであり、同じ時代の同じ地域で暮らしていく仲間として、心を開き、理解し合い、支えあい、心の配慮が最も尊いことを共感して、安心して安全に暮らしていけるまちをつくっていかねばならない」と考えている。この共生

社会の実現には、この条例制定が大きな役割を担うと考えている」と答弁しました。

また「特徴については、防災対策や災害時の避難生活への安全性の配慮などの条項を設けることが協議されている」と答えました。

えんど市議は、一人ひとりにあったきめ細かな対応を求めました。

